

無線機(DSTAR 対応)を使って、NoraGateway 公開 RF ノードを使用するのに必要なレピータリストへの登録とレピータやリフレクターを使つての交信手順

NoraGateway は、DSTAR 仕様書からレピータシステムを再解釈してノード局用にスケールダウンしたものであり、アイコム社製の純正ターミナルモード・アクセスポイントモード用ソフトウェアである RS-MS3 の機能に加えて、DSTAR(DV)リフレクターへのアクセスを機能付加したものです。

具体的には、ターミナルモード・アクセスポイントモードから、DSTAR レピータや RS-MS3、他の NoraGateway に対するゲート超え(1 対 1 の QSO)に加えて、DSTAR(DV)リフレクターにアクセスすることによる 1 対複数のラウンド QSO を可能にするソフトウェアです。

アクセス可能な NoraGateway 公開 RF ノード局を通常のレピータと同じように登録することで、JARL レピータ (エリア CQ・コールサイン指定・一部レピータへの山掛け) 及びリフレクターの運用ができます。

一部のレピータでは山掛状態による接続が可能で、レピータの交信内容が受信でき送信して交信が可能です。現在は 27 局 (石狩 430・花巻 430・世田谷 430・柳井 430・糸島 430 等) が接続可能です。

1. レピータリストに、NoraGateway 公開 RF ノード局を追加する。

ID-31 / ID-51 に、ノラ JL3ZIN X(430.950)及びノラ JL3ZIN Y(144.530)を追加する場合の例です。

- ① 「MENU」ボタンを押し、「DV メモリー」を選択し、決定ボタンを押します。(選択はダイヤルを回し、決定は真ん中の青いボタンを押します)
- ② 「レピータリスト」で「追加する地域 (例) 03.近畿」を選択し、決定ボタンを押します。
- ③ 右下の「QUICK」ボタンを短く押し、「追加」を選択し、決定ボタンを押します。
- ④ 「ネーム」には、DR モードの FROM に表示するためのわかりやすい名前を付けます。(ノラ 430.950 ノラ 144.530) など
- ⑤ 「サブネーム」にも、わかりやすく「ノラ 公開ノード」などの名前を付けておきます。

- ⑥ 「コールサイン」には、ノラ 430.950 には JL3ZIN X を、ノラ 144.530 には JL3ZIN Y を設定します。
- ⑦ 「GW コールサイン」は、⑥で設定したコールサインの 8 文字目が自動的に「G」になりますので、そのままです。
- ⑧ 「グループ」はそのまま構いません。
- ⑨ 「FROM TO USE」は、初期状態で「NO」になっており、「YES」に変更します。
- ⑩ 「周波数」には、ノラ 430.950 は 430.950.00 に、ノラ 144.530 は 144.530.00 にダイヤルを回して合わせます。
- ⑪ 「DUP」は「DUP-」に変更します。(OFF のままではダメです。)
- ⑫ 「オフセット周波数」は必ず、「5.000」から「0.000」に変更します。
- ⑬ 「追加書き込み」を選択し、決定ボタンを押します。
- ⑭ 「DR」ボタンを押して DR モードにすると、「FROM」の 03.近畿に、設定した「ノラ 430.950」及び「ノラ 144.530」が表示され選択が可能です。

2. ID-31 / ID-51 等を使って交信する。

(1) 準備

「MENU」ボタンを押し、「DV メモリー」、「相手局コールサイン」を選択して、右下の「QUICK」ボタンを短く押し、「追加」を選択し決定ボタンを押して下記内容を必要分だけ登録する。

(例) ネーム	コールサイン	説明
① 接続確認	JL3ZIN F	レピータのゲート越え接続試験
② 音声確認	JL3ZIN E	自局音声のエコーテスト
③ 切断	U	スペース7つと U、接続を切断
④ 情報	I	スペース7つと I、接続先を確認
⑤ 比叡山 430	/JP3YCSA	京都比叡山 430 にエリア CQ で接続
⑥ JA3IYX	JA3IYX	コールサイン呼出し
⑦ CQCQCQ	CQCQCQ	レピータへの山掛け接続時と、 リフレクターへの接続時に使用
⑧ 世田谷 430	JP1YCDAL	世田谷 430 に山掛けで接続
⑨ XLX673D	XLX673DL	リフレクターの XLX673D に接続
⑩ REF071B	REF071BL	リフレクターの REF071B に接続

(2) 交信 (ノラ 430.950 を使用する場合の例)

1. D-STAR レピーターに「ローカル CQ (山掛け)」で接続する。

接続したレピーターの音声聞こえ、送信して交信もできます。

① FROM にレピーターリストから「ノラ 430.950」を選択します。

② TO に TO センタクの個人局から選択するか、ダイレクト入力(UR)から接続する
D-STAR レピーターのコールサイン+AL(430) or BL(1200)を入力します。

(例) JP1YCDAL JP6YIDAL JP7YETAL 等 現在 27 局稼働中です。

NoraExternalConnector 稼働リスト

	コール		レピータ名
1	JP1YCD	A	世田谷 430
2	JP1YDS	A	香取 430
3	JP1YFY	A	船橋 430
4	JP1YJL	A	逗子 430
5	JP1YJT	A/B	八街 430/1200
6	JP1YJZ	A	つくば 430
7	JP1YKR	A	堂平山 430
8	JP1YKZ	A	文京 430
9	JP1YLF	A	牛久 430
10	JP1YLJ	A	結城 430
11	JP1YLM	A	成田 430
12	JP1YLW	A	銚子 430
13	JP2YHN	A	阿久比 430
14	JP4YDD	A	津山 430
15	JP4YDZ	A	柳井 430
16	JP4YEB	A	廿日市 430
17	JP5YCN	A	高知 430
18	JP6YHS	A/B	福岡 430/1200
19	JP6YHU	A	都城 430
20	JP6YIC	A	別府 430
21	JP6YID	A	糸島 430
22	JP7YET	A	花巻 430
23	JP7YEW	A	福島伊達 430
24	JP7YFI	A	由利本荘 430
25	JP8YEM	A	石狩 430
26	JP9YEP	A	中能登 430
27	JP0YEA	A	信州中野 430

- ③ PTT を押して送信し、受信に戻ると「***** に接続しました」のアナウンスが聞こえる。
- ④ TO に TO センタクの Reflector から「Use Reflector」を選択するか、個人局から「CQCQCQ」を選択します。
- ⑤ PTT を押して交信可能です。
- ⑥ 交信終了後に TO センタクの Reflector から「Unlink Reflector」を選択するか、個人局から「切断」(U) を選択します。
- ⑦ PTT を押して接続を解除します。

【注】接続したレピーターに対してゲートを超えてきた局に応答したい場合、「RX→CS ボタン」を押しコールサインを取り込んで TO に設定する。その際、相手局に対して To に自局をコールサイン指定するようにアナウンスして下さい。

2. D-STAR レピーターに「エリア CQ」で接続する。

接続したレピーターの音声は聞こえません ICOM のターミナルモードと同じです。

- ① FROM にレピーターリストから「ノラ 430.950」を選択する。
- ② TO に TO センタクのエリア CQ から接続する D-STAR レピーターを選択する。
又は、ダイレクト入力(UR)から、I+レピーターのコールサイン+A(430) or B(1200)を入力します。

(例) 03:近畿 京都比叡山 430 /JP3YCSA ←直接入力の場合

- ③ PTT を押して交信可能です。

【注】CQ を出す際には、相手局に対してエリアCQであり、To に自局をコールサイン指定するようにアナウンスして下さい。

3. D-STAR レピーターに「コールサイン指定」で接続する。

- ① FROM にレピーターリストから「ノラ 430.950」を選択します。
- ② TO に TO センタクの個人局又は、ダイレクト入力(UR)から相手局のコールサインを入力します。

(例) JA3IYX JK3ZNB F 等

- ③ PTT を押して交信可能です。

【注】他局からコールサイン指定で呼び出しを受けた場合は、RX→CS ボタンを押しコールサインを取り込んで TO に設定します。

4. REF/DCS/XRF/XLX のリフレクターに接続する。

- ① FROM にレピーターリストから「ノラ 430.950」を選択します。
- ② TO に TO センタクの個人局から接続するリフレクターを選択します。
ダイレクト入力(UR)からの入力も可能です。
(例) REF071BL XLX673DL XLX988GL 等
- ③ PTT を押して送信し、受信に戻ると「***** に接続しました」のアナウンスが聞こえる。
- ④ TO に TO センタクの Reflector から「Use Reflector」を選択するか、個人局から「CQCQCQ」を選択します。
- ⑤ PTT を押して交信可能です。
- ⑥ 交信終了後 TO センタクの Reflector から「Unlink Reflector」を選択するか、個人局から「切断」(U)を選択します。
- ⑦ PTT を押して接続を解除します。

【注】現在接続しているリフレクター番号+モジュールを確認したい場合は、TO に TO センタクの Reflector から「Reflector Infomation」を選択するか、個人局から「情報」(I)を選択し PTT を押して送信し、受信に戻ると「***** へ接続されています」のアナウンスが聞こえ確認できます。その接続先で交信する場合は、④の操作に戻ってください。

【参考】

リフレクターの概要は、下記 URL でご覧ください。

リフレクターのシステム概要 <http://xrf673.xreflector-jp.org/info/intro1.pdf>

リフレクターの接続方法 <http://xrf673.xreflector-jp.org/info/intro2.pdf>

【謝辞】

NoraGateway は、圏央道友会で開発されたフリーソフトウェアです。

このような素晴らしいソフトを作成し、公開されたことに感謝いたします。

本書を作成するにあたり、下記ページを参考にし一部を引用させていただきました。

<https://wiki.k-dk.net/ja/general/overview>

<https://kdk.ddns.net/kdk/index.php/10-noragateway/9-noragateway>

【更新履歴】

ver.1.0.0

2021/02/23

新規作成